

2026年5月14日

各 位

株式会社 西 京 銀 行  
取締役頭取 松 岡 健

株式会社ハヤロク宇部さまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、株式会社ハヤロク宇部（本社：山口県山陽小野田市代表取締役 井手 哲平）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	株式会社ハヤロク宇部
所 在 地	山口県山陽小野田市大字津布田字四郎丸 1242 番地 1
代 表 者	井手 哲平
SDGs への取組み	土木建築用木材の製造を通じて地域のまちづくりを支えるとともに、製造過程で生じる端材の再資源化や、スギの特性を活かした製品づくりに取り組み、木材資源を無駄なく活用しています。 また、再資源化が困難な木材については、地元住民や地元漁港へ薪として提供するなど、廃棄物の削減と資源の有効活用を進めています。 さらに、有給休暇の取得促進や長時間労働の抑制、ハラスメント対策に取り組み、従業員が安心して働ける職場環境を整備しています。加えて、近隣小学校の職場体験や工場見学の受入れを通じて地域との交流を深め、次世代への学びの機会づくりに努めています。
U R L	<a href="http://xn--pck3czcsb.com/page1">http://xn--pck3czcsb.com/page1</a>

※ 株式会社ハヤロク宇部さまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



# 株式会社ハヤロク宇部 SDGs宣言

当社は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2026年5月14日  
株式会社ハヤロク宇部  
代表取締役 井手 哲平

## 当社のSDGsへの貢献

### 循環型の資材提供を目指して

土木建築用木材の製造を通じて地域のまちづくりを支えるとともに、製造過程で生じる端材の再資源化や、スギの特性を活かした製品づくりに取り組むことで、木材資源を無駄なく活用し、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献しています。

#### 【主な取り組み】

- 山口県産スギの資源を無駄なく活用した製品の販売（資材用以外は、バイオマス用木質チップへ変換）
- 産業廃棄物ゼロを掲げ、製造過程で発生する端材を廃棄せず、おが粉として再資源化

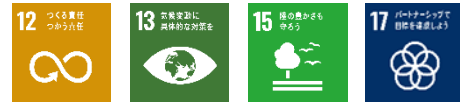


### 環境への配慮

山口県産木材の利用推進や森林整備への協力を通じて、地域の森林資源の循環と環境保全に取り組んでいます。また、再資源化が困難な木材は、地元住民や地元漁港へ薪として提供するなど、廃棄物の削減と資源の有効活用を進めています。

#### 【主な取り組み】

- 山口県産木材の利用を推進し、森林整備に協力
- 再資源化の困難な木材は、地元住民や地元漁港へ『薪』として提供
- 契約書等の電子化によるペーパーレス化



### 働きやすく成長できる職場環境

有給休暇の取得促進や長時間労働の抑制、ハラスメント対策に取り組む、従業員が安心して働ける職場環境を整備しています。また、資格取得費用を会社が負担し、誰もが成長し活躍できる体制づくりを進めています。

#### 【主な取り組み】

- 定時退社、時間外労働・休日労働ゼロの推進
- ハラスメント規定・相談窓口の整備
- フォークリフト等資格取得費用の会社拠出

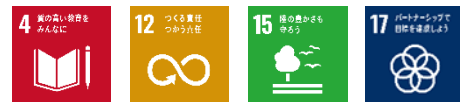


### 地域への貢献

地元の木材市場から原材料を仕入れ、加工・販売を行うことで、地域の林業や関連産業を支えています。また、近隣小学校の職場体験や工場見学の受け入れを通じて、地域との交流を深め、次世代への学びの機会づくりに努めています。

#### 【主な取り組み】

- 地元木材市場からの仕入れによる林業・木材産業への貢献と、山林資源の地産地消の促進
- 小学校の職場体験・工場見学受け入れ



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。